

# 全木連時報

3月15日(金曜日)

(第655号)

平成25年(2013年)

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215  
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク



## 第40回 JAS製材品普及推進展示会 入賞工場を表彰

昨年九月から十二月にかけて、全国六カ所の木材市場で開催された今年度のJAS製材品普及推進展示会(第四十回)の受賞出品工場がこのほど決定し、うち、主催三団体特別賞、農林水産大臣賞、農林水産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞について、二月二十一日に東京で表彰式が開催され、各賞が授与された。また、各開催市場への感謝状が主催者から贈られた。主催団体の会長賞および優良買方への感謝状は、別途開催市場で伝達される。

昨年九月から十二月にかけて、工場、千九十二㎡と、過去より増えていて。百点の出品社が少ないが、全体の得点は上がっている。実際の等級より下に格付表示されたものが目についた。開催市場が出品を奨励されたものと思われる。」と述べた。

これに続いて、各賞の授与が行われた。農林水産省、林野庁の祝辞があり、最後に受賞者を代表してウッドピア流通検査協同組合から謝辞が述べられ閉会した。

▼受賞者は次のとおり。  
注(一) 内は工場所在都道府県。  
順不同。

**主催三団体会長特別賞**  
院庄林業株式会社(岡山)  
株式会社オオコーチ(三重)  
農林水産大臣賞  
中国木材株式会社(茨城)  
ウッドピア流通検査協同組合(三重)

**官川森林組合(三重)**  
株式会社香澤製材所(秋田)  
**消費・安全局長賞**  
山下木材株式会社(岡山)  
小林製材株式会社(岡山)

目次

- 一面 JAS製材品展示会入賞工場を表彰
- 二面 常勤役員・事務局長等会議  
開き来年度事業などを検討
- 三面 木材利用事例発表会開く  
全木連PR委員会を開催
- 四面 景況調査

有限会社須田製材所(岡山)  
株式会社鈴鹿製材所(岡山)  
株式会社丸左木材(岡山)  
有限会社山洪木材(岡山)  
伊藤林産有限公司(岐阜)  
桑原木材株式会社(岐阜)  
協和木材株式会社(福島)  
東北木材株式会社(秋田)  
小牧木材株式会社(三重)  
熊本モルダ加工事業協同組合(熊本)

**林野庁長官賞**  
牧野木材工業株式会社(岡山)  
河井林産株式会社(岡山)  
銘建工業株式会社(岡山)  
有限会社倉地製材所(岐阜)  
ウッドリンク株式会社(富山)  
宮迫木材株式会社(広島)  
株式会社佐藤製材所(宮城)  
金子製材株式会社(埼玉)  
斎藤木材有限公司(三重)  
越井木材工業株式会社(茨城)  
株式会社山長商店(和歌山)  
有限会社菊池製材所(岩手)  
株式会社松島木材センター(熊本)  
有限会社三和物産(熊本)  
株式会社佐藤林業(熊本)  
合資会社立山製材所(熊本)

幸の国木材工業株式会社(熊本)  
天草地域森林組合(熊本)  
**全市連会長賞**  
有限会社太平製材所(岡山)  
株式会社丸七ヒダ川ウッド(岐阜)  
東濃ひのき流通センター協同組合(岐阜)  
株式会社東海木材相互市場(愛知)  
エンジニアウッド宮崎事業協同組合(宮崎)  
共力株式会社(福島)  
宮内林業株式会社(宮崎)  
島慶木材合資会社(秋田)  
ランバーやまと協業組合(熊本)  
株式会社木谷製材所(熊本)  
**全貫連会長賞**  
セイキ林業株式会社(岡山)  
有限会社森製材所(岐阜)  
交告製材株式会社(岐阜)  
東白川製材協業組合(岐阜)  
株式会社トーホー(岐阜)  
株式会社日田十条(大分)  
柴木材株式会社(富山)  
坂本商店(奈良)  
九州林産株式会社(大分)  
中国木材株式会社郷原工場(広島)  
**優良開催市場**  
丸宇木材市売株式会社北浜市場(埼玉)  
株式会社東海木材相互市場大口市場(愛知)  
ウッドピア市売協同組合(三重)  
株式会社津山綜合木材市場(岡山)  
**優良買方**  
深澤木材株式会社(埼玉)  
丸勝木材株式会社(東京)  
後藤木材株式会社各務原店(岐阜)

森田産業株式会社(三重)  
さんもく工業株式会社(岡山)

有限会社木下材木店(熊本)

### 全木連・全木協連合同 常勤役員・事務局長等会議開く



興室長から説明を受けた。  
次いで議事に入り、全木連、全木協連の平成二十五年度事業計画の策定について事務局より説明のうえ、意見交換した。

全木連と全木協連は二月十五日に東京新木場の木材会館で合同の常勤役員・事務局長等会議を開き、平成二十四年度政府施策や全木連、全木協連の事業計画案などについて検討した。

これは、各都道府県木協連等から事務局の責任者が出席して、毎年この時期に行っているもの。会議は、吉条全木連会長、坂東全木協連会長の挨拶で始まった。この後、平成二十四年度補正予算及び平成二十五年度の政府施策について、測上和之林野庁木材産業課長、阿部勲林野庁木材利用課長、加古貴一郎国土交通省木造住宅振

興室長から説明を受けた。  
次いで議事に入り、全木連、全木協連の平成二十五年度事業計画の策定について事務局より説明のうえ、意見交換した。

全木連の事業計画は、例年とおり昨年末から、全木連事務局全体で検討してきたもの。平成二十五年度の重点事項は、①温暖化防止に貢献する木材利用推進②住空間、街づくりへの総合的な木材利用の取組み③木材産業の再興に向けた産業構造の確立④安全・安心の木材利用・供給の推進⑤組織活動の活性化等である。会議で出された意見を踏まえて加筆のうえ、三月の総会に諮り決定する。

次に、全木連、全木協連の事業運営関係として次の報告を行った。

①全木連と木退共の一般社団法人への移行申請の状況②合法木材証明制度の現状と課題③全木連理事会の出席状況④平成二十四年度木材関係補助事業の実施状況⑤平成二十四年度木材関係補助事業(補正予算)⑥平成二十五年度木材関係補助事業⑦木材産業退職金共済会の業務運営について。

最後に、活動報告として、①平成二十五年度税制改正について②

企業経営に安心を提供します

**全木連グループの各種保障制度**

おかげさまで35年  
中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために <b>中型グループ</b>	<b>総合賠償補償制度</b>	第三者への事故対策に
	経営者のために <b>総合保障プラン</b>	<b>任意労災保障制度</b>	労働災害への対策に
		<b>木退共</b>	従業員の退職金の準備に

**全国木材協同組合連合会**  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
TEL 03-3580-3215(代)

発用木質バイオマスの証明への取組み③平成二十五年度林業セロ口災推進事業計画(案)④建築物等における木材利用促進に向けた関係法令の隘路調査結果⑤JAPIC「国産材マーク」について報告・連絡したほか、木材ポイント制度について、意見交換の後、終了した。

## 「新たな木材利用」事例発表会開催

全木連は木材利用推進中央協議会とともに、二月十四日に東京新木場の木材会館で「新たな木材利用事例発表会」を開催した。木材関係者以外に建築関係者等の参加希望も多く、予定の人員を上回る参加者で、高い関心が寄せられた。

## 全木連PR委員会を開催 25年版ポスターの作成などを検討

全木連は、二月十五日にPR委員会を開催し、平成二十五年版木材PRポスターの作成などについて検討した。PR委員会は毎年この時期に開催しているもの。

PRポスターは、平成八年から毎年作成しており、比較的簡便な全国統一PRグッズとしてのニーズも強いことから、平成二十五年も引き続き作成する。会議では、これまでのテーマの流れに沿って、何を主張するポスターを作るのかについて意見交換した。

意見は幅が広いが、昨年版の評価をベースに「健康と木造住宅」の内容で作成することとなった。

開会した。

その後、順次発表が行なわれた。発表タイトルと発表者は次のとおり。

第一部 街づくり・くらしと木材利用

①大型の商業ビル等への利用  
発表者・(株)竹中工務店先進構造エンジニアリング本部特殊架構グループリーダー五十嵐信哉氏

②木造の中層集合住宅への利用  
発表者・東京大学生産技術研究所教授腰原幹雄氏

概要・市街地で大きな木造建築をつくるために、火災時・消火活動後も倒れない木造建築を実現するため、耐火集成材「燃エンウッド」を開発し、市街地で大きな木造建築を建設した事例

③木製エクステリアの新たな取り組み  
発表者・独立行政法人森林総合研究所機能化研究室室長木口実氏  
概要・木製塀、木製ルーバー、木製道路施設(ガードレール、遮音壁)、ビル外装の建設事例

②木造の中層集合住宅への利用  
発表者・東京大学生産技術研究所教授腰原幹雄氏

④都市ビルへの木材利用(内装)  
発表者・(株)隈研吾建築都市設計事務所主任技師針谷将史氏  
概要・東京を代表する観光地に、内装、外壁のルーバー等にスギの集成材を用いて、木造的な構造を表現した建物の建設事例

概要・都市の中に新しい「木」の建築を作りたいと考え、人が住

⑤鉄道と木の温もり  
発表者・(株)東急交通サービス  
概要・富士急行(株)交通事業部鉄道担当課長奥田壮一氏  
概要・富士登山電車の内装の木質化、駅舎及びその周辺施設を木造化した事例

①大型の商業ビル等への利用  
発表者・(株)竹中工務店先進構造エンジニアリング本部特殊架構グループリーダー五十嵐信哉氏

⑥スギ材の家具利用  
発表者・飛騨産業(株)専務取締役本母雅博氏  
概要・無垢のスギ材のデメリットを圧縮技術を用いて解消し、スギを広く家具に利用できるようにした事例

②木造の中層集合住宅への利用  
発表者・東京大学生産技術研究所教授腰原幹雄氏

⑦大型構造物と地域材利用  
発表者・独立行政法人森林総合研究所構造利用研究領域チーム長軽部正彦氏  
概要・大型構造用部材への地域材の利用について、商業施設を重点調査した六事例の概要の報告

これを踏まえ、二十五年版のポスターについては、これまでの「健康」テーマを継続することとし、対象は木材で家を建てたいと思っている人に、木造住宅の住空間の暖かさ、清潔感などを訴えるポスターをめざす。



景況調査

25年2月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数94 回答数60 回収率64%

当月の状況

販売量	増加40% (24)	変わらず45% (27)	減少15% (9)
仕入量	増加47% (28)	変わらず38% (23)	減少15% (9)
販売価格	上昇47% (28)	変わらず53% (32)	下降0% (0)
仕入価格	上昇70% (42)	変わらず30% (18)	下降0% (0)

来月の見通し

販売量	増加47% (28)	変わらず50% (30)	減少3% (2)
仕入量	増加48% (29)	変わらず44% (26)	減少8% (5)
販売価格	上昇58% (35)	変わらず40% (24)	下降2% (1)
仕入価格	上昇73% (43)	変わらず27% (16)	下降0% (0)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	71% (37)	27% (14)	2% (1)
南洋材	63% (29)	35% (16)	2% (1)
北洋材(欧州材を含む)	78% (39)	20% (10)	2% (1)
国産材	44% (25)	56% (32)	0% (0)
建材	58% (28)	42% (20)	0% (0)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	60% (29)	36% (17)	4% (2)

〔製造部門〕

モニター数110 回答数69 回収率63%

当月の状況

販売量	増加43% (29)	変わらず43% (29)	減少14% (10)
仕入量	増加26% (18)	変わらず60% (40)	減少14% (10)
販売価格	上昇16% (11)	変わらず81% (55)	下降3% (2)
仕入価格	上昇47% (32)	変わらず47% (32)	下降6% (4)

来月の見通し

販売量	増加46% (31)	変わらず51% (35)	減少3% (2)
仕入量	増加47% (32)	変わらず52% (35)	減少1% (1)
販売価格	上昇29% (20)	変わらず68% (46)	下降3% (2)
仕入価格	上昇46% (31)	変わらず54% (37)	下降0% (0)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	92% (25)	4% (1)	4% (1)
南洋材	83% (19)	17% (4)	0% (0)
北洋材(欧州材を含む)	88% (23)	8% (2)	4% (1)
国産材	55% (34)	39% (24)	6% (2)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	62% (8)	30% (4)	8% (1)

景況調査

(平成二十五年二月分概詳)

二月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも前月より増加した。また、販売価格については、流通部門では上昇、製造部門では変わらなかった。仕入価格については、流通・製造部門とも上昇した。荷動きには堅調さが持続されたものと思われる。

三月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも増加の見通しである。また、販売価格、仕入価格については、流通・製造部門とも上昇の見通しである。三ヵ月後の相場予想については、米材、南洋材、北洋材(欧州材を含む)、国産材は、いずれも流通・製造部門とも強含み予想である。また、建材は強含み予想である。プレカットの動向については、流通部門、製造部門を通じ繁忙が見られた。

木材産業界独自の退職金共済制度

ご加入のすすめ

(社)木材産業退職金共済会

『東日本大震災復旧緊急保証』の受け付けをしております。

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
- ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金

詳しくは基金までお問い合わせ下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)  
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

